

SDGs 経営 はじめの一歩



なぜSDGsに取り組むのか

中小企業がSDGsに取り組むことで、皆様の本業や組織の強化につながります。

一方で、取り組まないことで取引先との取引に影響したりとリスクも増えます。

短時間で読みやすいパンフレットになっておりますので、ぜひ手に取ってみてください。

なぜ中小企業がSDGsに取り組むのか

中小企業でもSDGsは必要か？と疑問を持つ経営者の方がいらっしゃいますが、SDGsを進める上では多くのプレイヤーの協力が必要です。日本企業の99%が中小企業です。次世代のために持続的な地球を維持していくには、中小企業の行動が目標達成に欠かせません。**SDGsに取り組むことで、**

皆様の本業や組織の強化につながります。一方で、取り組まないことで取引先との取引に影響したりとリスクも増えます。SDGsへの理解を深め、実践することで自社の企業価値や競争力の向上、ステークホルダーとの連携強化につなげ、地域と企業の持続的な発展を目指しましょう。

SDGs経営に取り組むメリット

本業の強化

取引先との良好な関係
新たな事業機会の創出
資金調達
効果的なPR・ブランディング

組織の強化

人材採用
社員の会社への愛着心向上
労働力向上
社内体制や事業の棚卸し

企業価値・競争力の向上

ステークホルダーとの連携強化

SDGs経営へのみちしるべ

国連など3団体がSDGsの取組のみちしるべとしてSDG Compassを開発しています。

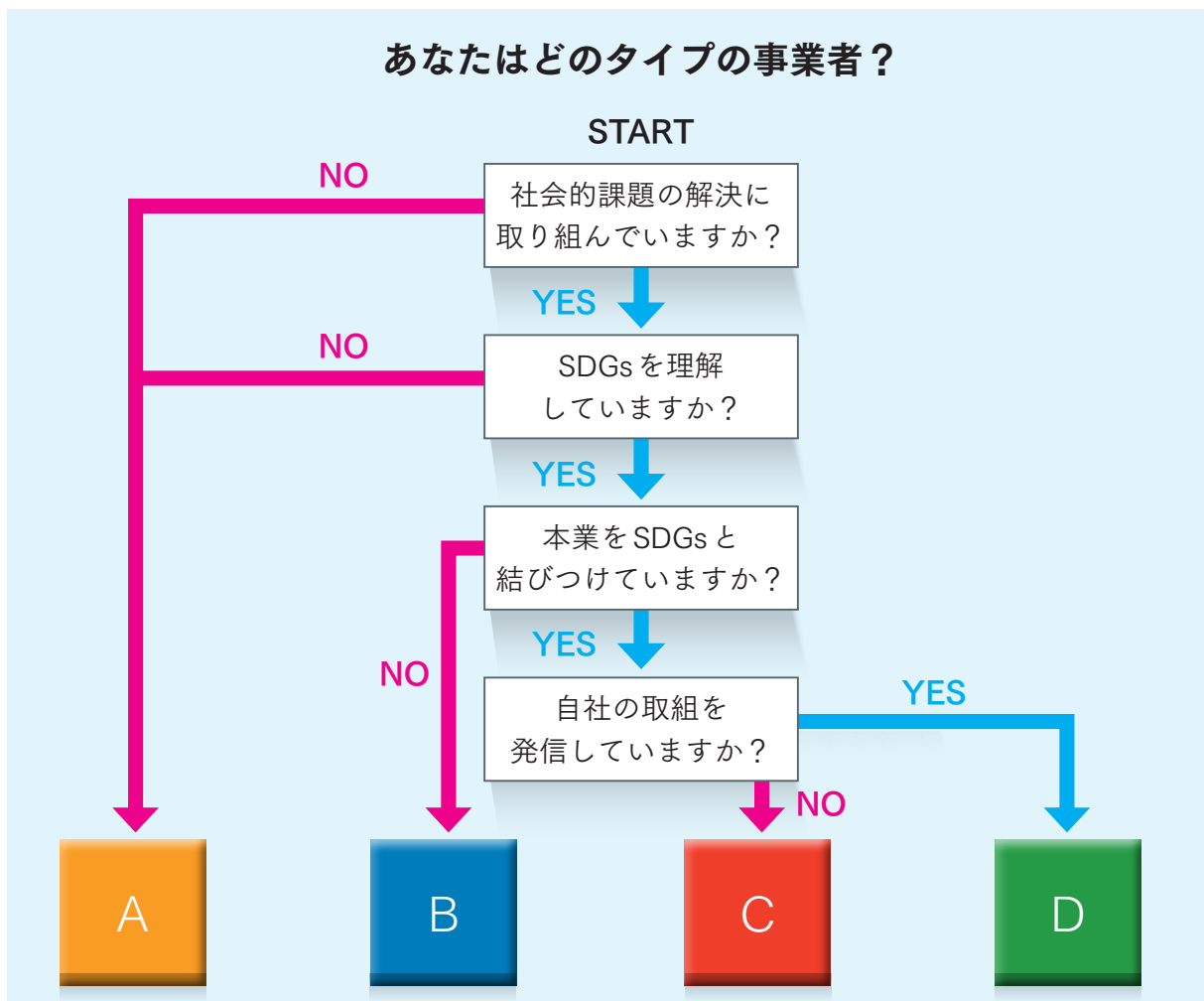
SDGsを理解し、課題や目標を設定し、経営へ統合した上で、コミュニケーションを取ることが大切です。まずはこのステップを理解しましょう。



SDG Compass



SDGs 現状把握フローチャート



A

まずはSDGsの基礎や考えを理解しましょう

SDGsとは人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標です。「持続可能な開発目標」と訳され、気候変動、貧困、人種やジェンダーなど地球規模の問題を解決するため、「誰一人取り残さない」という理念のもと17の目標とそれを達成するための、169のターゲットを設定しています。まずは、ご自身で国連のサイトやインターネットでSDGsやSDGコンパスを理解しましょう。

SDGs



SDGコンパス



SDGsはあくまで「目標」であり、法的な強制力はありませんが、もし企業が環境に悪い影響のある商品を作っていた場合はどうでしょうか？

SDGsに取り組むメリットがある一方で、取り組まなかった場合は、企業イメージの低下や取引先やお客様などステークホルダーから影響を受けたり、優秀な人材を確保できないなどのリスクがあることも忘れてはいけません。

B

本業をSDGsと結びつけましょう



事業を棚卸し、17のゴールに結びつくものとそうでないものを確認し、自社の事業整理しましょう。結びつけられた目標は発信したり、更に取組を磨いていきましょう。結びつけられなかった目標はSDGsの新たな事業や社内の取組などを考えましょう。自社では、SDGsに関連していないと考えていても、実はSDGsにつながる業務や取組は多いです。

しっかり自社の現状を理解しSDGsと結びつけることで、優先課題を決定し、目標を設定することが大切です。更に経営戦略まで落とし込むことでSDGs経営へ第一歩につながります。

目標	概要	例	貴社の取組
	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困をなくす	貧困問題に関心を寄せ、正しい価格で取引されている製品・商品を購入する	
	飢餓を終わらせ、誰もが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球環境を守り続けながら農業を進める	売上の一部を食料支援等の慈善団体に寄付する	
	誰もが健康で幸せな生活を送れるようにする	健康に関心を持つ従業員に、運動や栄養指導などの機会を提供する	
	誰もが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広める	時間と場所の制約の少ないオンライン研修を導入する	
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	子育てや介護をする従業員に配慮した就業制度を確立する	
	すべての人々の水と衛生に利用可能性と持続可能な管理を確保する	節水型の生産工程を導入する	
	すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにする	社内の電球をLED電球に切り替えるなど、省エネ化する。再生エネルギーに切り替える。	
	みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、誰もが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作る	バースデー休暇、アニバーサリー休暇など会社の独自の休日を設ける	
	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	デジタル化によって生産性の向上を図る	

目標	概要	例	貴社の取組
	各国内及び各国間の不平等を是正する	外国人労働者・障がい者・高齢者などを積極的に雇用する	
	包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する	生産工程を見直し、端材などの廃棄ロスを抑制する	
	持続可能な生産消費形態を確保する	使い捨ての食器をやめ、繰り返し使える食器を採用	
	気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こす	環境に配慮した社用車を導入することで温室効果ガスを削減する	
	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	使い捨てプラスチック製品を削減する	
	陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う	ペーパーレスに対応したデジタル化を推進する	
	平和で誰もが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくる	ハラスメントなどを生み出さない職場環境の実現のため、社内コミュニケーションを円滑にするために研修を実施する	
	世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成する	国内外を問わず他社と協力して目標に取り組む	

C

取組を社内や社外に発信しましょう

目標設定や経営戦略への落とし込んだ後は、
 しっかり社内に目標や経営戦略を共有しましょう。
 また社外にも自社のSDGsへの取組をしっかりと発信していきましょう。
 せっかく企業として良い取組をしても、周りからはなかなか分かりません。
 発信していくことで、自社のSDGs活動を知ってもらうことが必要です。



企業発信の例

- 社内の目標として掲示
- ホームページやパンフレットでSDGsの取組を紹介
- 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”を取得し、対外的にアピール(6頁)
- 名刺にY-SDGs認証ロゴを表示
- SDGsの取組を外部に紹介してもらう

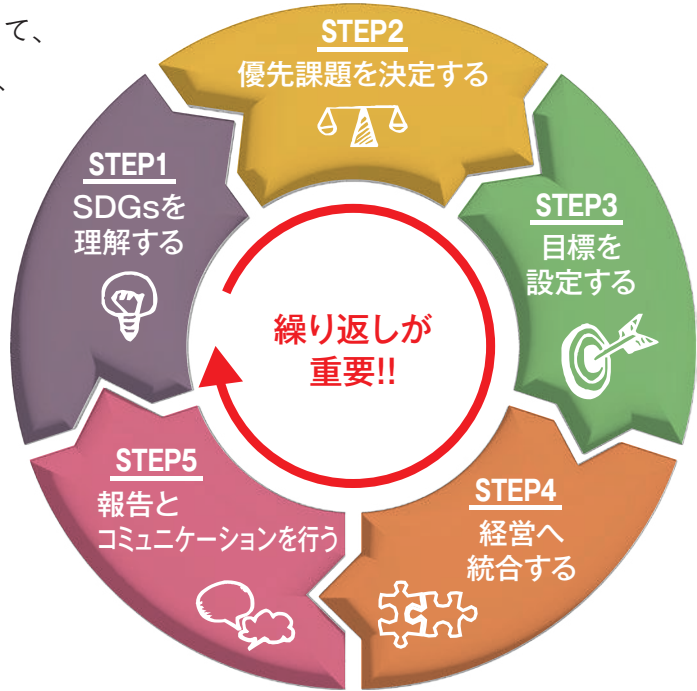


D

取組を高め、更にステップアップしましょう

現状の取組を更にブラッシュアップして、SDG Compassはステップを繰り返し、質を高めることが重要です。

困ったら
横浜商工会議所や
ヨコハマSDGsデザインセンターに
相談!



ヒント:バリューチェーンマッピング

- 優先課題の決定には、バリューチェーン全般を通じて、事業活動自体がSDGsに影響を及ぼす可能性がないか、リスクと機会を把握することが重要です。
- リスクを低減もしくは回避する分野と機会を拡充する分野を特定でき、経営戦略への落とし込みが可能になります。

正の影響の強化

品質追求 環境に優しい エコカー 労働環境の 簡易包装 リユース
環境配慮 原材料の選定 安全運転 改善 エコバッグ リサイクル



負の影響の最小化

森林伐採 強制労働 有害物質 外国人差別 過重労働 過剰包装
海洋汚染 温室効果ガス







SDGsの目標達成のためには皆様のはじめの一步が大切です。

横浜市 SDGs 認証制度 "Y-SDGs"

横浜市ではSDGsに取り組むことで、持続可能な経営・運営への転換、新たなお客様へお取引先の拡大、更には、投資家や金融機関がESG投資などの投資判断への活用につなげることを目指し認証制度を設けています。

認証区分	認証マーク	解説
【最上位】 Supreme (スプリーム)	 	SDGsへの貢献を高く掲げ、模範として更なる高みを目指していただくとともに、全評価項目の概ね8割以上の項目で高いレベルで取組を進める事業者
【上位】 Superior (スーペリア)	 	SDGsの達成に向けて高く貢献し、更なる高みを目指していただくとともに、全評価項目の概ね6割以上の項目で高いレベルで取組を進める事業者
【標準】 Standard (スタンダード)	 	SDGsを意識した経営を進めるなど、より高みを目指していただくとともに、全評価項目の概ね3割以上の項目で高いレベルで取組を進める事業者

▼Y-SDGs認証メリット▼

-  認証マークの利用により、SDGsに取り組んでいることの認知につながります。
 -  ヨコハマSDGsデザインセンターのWEBサイトで自社の取組をPRできます。
 -  認証事業者同士の交流会やセミナー、その他イベントにご案内します。
 -  市内設備投資等で、地域再生支援利子補給金制度を利用できる場合があります。
 -  「横浜市総合評価落札方式」の評価項目において、加点されます。
 -  「SDGsよこはま資金」の対象です。
その他各金融機関より人材サービスやCO₂排出量簡易策定ツールなどが提供されます。
- 詳細は下記二次元コードによりご確認ください。

▼本認証制度についてのご相談は下記までお問合せください▼

相談窓口

ヨコハマSDGsデザインセンター
住所：〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島1丁目2-5
横濱ゲートタワー 3階

営業時間：月～金曜日
11:00～16:00 ※土日祝 休み
TEL 050-3749-7415

二次元コードから
HPをチェック



相談窓口

横浜商工会議所「SDGs 経営」専門相談窓口

中小企業にとって、SDGsを企業経営に取り込む、もしくはどのように導入し、事業にいかしていくかを検討することが、持続的な企業価値の向上の観点から重要な課題となっています。またSDGsに取り組むことで得られる公的認証制度や支援策など多くのメリットもあります。横浜商工会議所では「SDGs 経営」専門相談窓口を設置しておりますので、お気軽にご相談下さい。

▼経営相談についてのご相談は下記までお問合せください▼

相談窓口

横浜商工会議所 中小企業相談部
住所: 〒231-8524
神奈川県横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル 8階

営業時間: 月～金曜日
9:00～17:00 ※土日祝 休み
TEL 045-671-7450

二次元コードから
HPをチェック



ヨコハマSDGsデザインセンター

ヨコハマSDGsデザインセンターは、横浜市と民間事業者が共同で設立・運営する組織で、SDGsの達成に向けて、市内外の多様な主体が持つニーズとシーズをつなぎ合わせ、横浜における環境・経済・社会的課題を解決するための中間支援組織です。

官民連携で運営する強みを活かし、SDGsに関する相談受付・助言はもちろんのこと、ご要望に応じてハンズオン支援など、各種コンサルティング業務を行うほか、SDGs達成に向けた多様な主体同士のマッチング、「横浜」というフィールドを活用した、多様な実証実験の協力・支援なども行っています。

▼SDGsの取組やY-SDGs認証などについてのご相談は下記までお問合せください▼

相談窓口

ヨコハマSDGsデザインセンター
住所: 〒220-0011
神奈川県横浜西区高島1丁目2-5
横濱ゲートタワー 3階

営業時間: 月～金曜日
11:00～16:00 ※土日祝 休み
TEL 050-3749-7415

二次元コードから
HPをチェック



横浜商工会議所とデザインセンターは連携してSDGs推進に取り組んでおりますので、いずれかの窓口にお問合わせください。連携して対応いたします。

横浜商工会議所 中小企業相談部

ヨコハマSDGsデザインセンター

横浜市 温暖化対策統括本部 SDGs未来都市推進課

